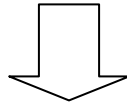


大震災を踏まえたまちづくり方針について

■ 今後の方針

- ・東日本大震災は、既存の災害対策をはるかに超える甚大な被害をもたらすことになった。
- ・この大震災の現実と経験を踏まえ、今後は、従来の枠組みによる災害対策を越え、市民のいのちがしっかりと守られ、生存と生活が確保できるまちをつかっていくことが必要である。

そこで小田原市では、



■ 3つの取り組み

1. 災害対策の強化
～安心した暮らしを実現するための災害対策の強化
2. 持続可能な暮らしの実現
～災害対策を視野に入れた着実なまちづくりの推進
3. 被災地・被災者支援
～様々な支援活動の実施と小田原市の災害対策へのフィードバック

を3つを柱として「市民のいのちを守る」という視点に立ち、様々なまちづくりの施策に横串を通す形で補完しながら、それぞれの取り組みを強化していく。

■ 「いのちを守る小田原」推進会議

まずは、上記3つの取り組みに関する

- ① 全庁的な情報共有
 - ② 市民への情報提供
- などを行うため、

○市長をトップとし、副市長、教育長、病院長、全部局長で構成する

「いのちを守る小田原」推進会議を設置する。(詳細は別紙資料のとおり)

○また上記1～3のテーマごとに部会を設け、企画部、防災部などがそれぞれ総括し、調整を行う。

○必要に応じ会議を招集するとともに、会議に提供された情報はホームページなどを通じ、市民に公開する。

第1回「いのちを守る小田原」推進会議

日時 6月2日(木) 10:00～

場所 市役所 議会全員協議会室 (3階)

(事務担当) 企画政策課 企画政策係

電話 33-1253